

学会発表渡航支援報告書

(ふりがな) 氏 名	さくらだ りょうこ 櫻田 涼子	所属・職名 京都大学文学研究科 COE 研究員
発表題名 (英語)	Working in the City and Rearing Children in the Hometown: Women-Centered Relationships and the Family in the Rural Chinese Malaysian Community	
著者名	Ryoko SAKURADA 櫻田涼子	
会議名 (英語)	Annual Conference of Association for Asian Studies (AAS), 2012	
開催地(国、市)	カナダ・トロント	
参加期間	2012年 3月 14日 ~ 3月 20日	
<p>本発表は、京都大学大学院 COE プロジェクトの 2010 年度次世代研究ユニット「都市と故郷の往還的移動による家の維持：マレーシア華人社会における女性の労働と子どもの養育をめぐる人類学的研究」（代表：櫻田涼子）において実施した研究調査の成果報告の一部である。</p> <p>本発表では、都市労働に従事する若年世代が多いマレーシア華人コミュニティにおける女性の賃金労働と、故郷において行われる子育てという再生産労働を両立させようとする華人女性たちの日常実践を民族誌的記述から明らかにした。聞き取り調査及び参与観察を行った結果、当該社会の女性たちには「母親が子どもを育てなければならない」という規範は特に見られなかった。一方で、女性たちは都市での賃金労働に従事するために様々なネットワークを駆使して「子どもの養育」を試みる。それは例えば、故郷に残る婚家の母や実母、実姉、実妹などの親族・姻族女性との関係を維持して子育てを代わりに行ってもらう実践であり、また保姆と呼ばれるナーシングマザーなどの外部養育制度を巧みに利用して、母親が不在であっても子どもをそこで育てることを可能とする実践である。特に重要なのは姉妹間の日常的な協力関係や頻繁な往来で、このような女性を中心とした関係を日常的に維持することにより、子育ての協力者が必要な場合に依頼可能な人的資源を引き出すことが可能となっていたことを本発表では指摘した。</p> <p>報告後、フロアからなぜ姉妹間のつながりがここまで強固なのかという質問があった。系譜維持に関わる垂直関係に比較的強い関心をもつ母親とは異なり、姉妹は水平的なつながりを重視するものである。この水平的つながりこそが都市での賃金労働と子育て実践を両立することを可能とする重要な要因であるため、ここでは姉妹間のつながりが重要であることを再度説明した。また中国の女性文学が専門のディスカッサントからは、中国文学では母娘関係をモチーフとした作品が比較的豊富であるが、姉妹関係を主題とするものは少なく、そういった意味で漢族社会における姉妹関係はまだ不明な点が多々あり本発表の報告は看過されてきた漢族社会における姉妹関係の実際について考察する上で意味があるとのコメントをいただいた。一方で、本発表の事例はインドネシアなどの近隣諸国からの家庭内ケアワーカーを雇用する機会が多い都市中間層とは異なり、田舎の低価格住宅団地に居住する比較的低い社会階層に所属する人々を対象に調査を行ったが、その点を報告で言及すべきであったという反省点もあった。</p>		

学会発表渡航支援報告書

今回の発表は、会議最終日である3月18日の最終パネルであったため、初日や二日目に比べると聴衆はあまり多くなかったように思う。しかし、事前に発表者のペーパーを相互に読んだ上で議論を行うことができたため、パネルのまとめり、テーマと各発表の整合性がとれた優れたパネルであったと思う。また出席していただいた聴衆からは、パネル終了後にも質問や貴重なコメントを頂くことができ、大変実りの多い発表となった。

